

公共事業等施行状況調（令和4年10月末）

県 分

（単位：百万円、％）

工種区分	項目 年度	予 算 措 置 額				本工事費契約額及び契約率 (10月末)				備 考
		事 業 費		本 工 事 費		4年度 C	C/A	3年度 D	D/B	
		4年度	3年度	4年度 A	3年度 B					
1	治山・治水	24,119	26,237	17,079	17,006	13,564	79.4	12,105	71.2	
2	農林・水産	33,315	33,546	25,680	25,748	21,048	82.0	20,037	77.8	
3	道 路	59,950	58,538	39,347	37,599	28,928	73.5	28,990	77.1	
4	港湾・空港	8,149	7,164	3,980	3,453	2,613	65.7	2,663	77.1	
5	下水道・公園	9,396	9,647	2,329	2,400	725	31.1	1,357	56.5	
6	住 宅	1,489	2,513	1,052	2,085	895	85.1	1,246	59.8	
7	庁 舎	2,467	3,609	2,315	3,342	1,737	75.0	1,751	52.4	
8	土地造成	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
9	鉄道・軌道	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
10	学校・病院	4,047	19,173	2,780	15,607	1,742	62.7	6,769	43.4	
11	工業用水・上水道等	950	1,034	83	106	78	94.0	96	90.6	
12	災害復旧	808	298	663	290	235	35.4	248	85.5	
13	その他	7,424	8,966	4,258	6,507	2,834	66.6	4,554	70.0	
	計	152,115	170,724	99,566	114,145	74,399	74.7	79,817	69.9	

※項目ごとに端数処理をしているため計と一致しない場合がある。

公共事業等県内県外別発注実績（令和4年10月末）

（単位：社、件、百万円、％）

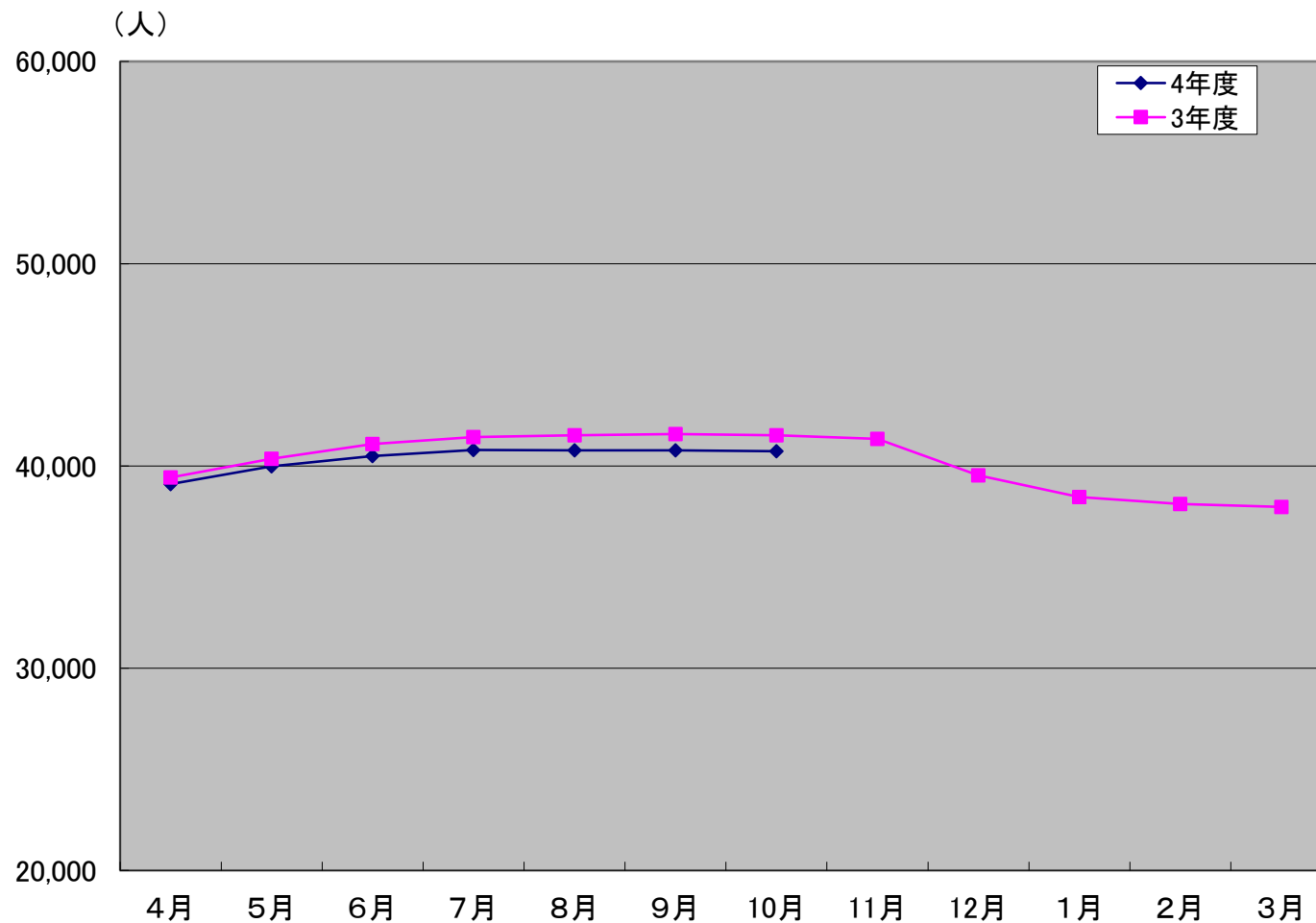
事項 区分	予算措置額 (A)		発注実績 合計 (B)											
	事業費	本工事費	県内 (C)			県外 (D)			共同企業体 (E)					
指名業者等			契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	
4年度	152,115	99,566	21,245	2,036	74,399	20,765	1,952	67,512	438	70	3,762	42	14	3,125
					B/A 発注率 74.7	C/B 97.7	95.9	90.7	D/B 2.1	3.4	5.1	E/B 0.2	0.7	4.2
前年度比	89.1	87.2	88.0	85.2	93.2	88.0	85.4	95.9	95.0	79.5	78.8	61.8	77.8	67.2
3年度	170,724	114,145	24,130	2,391	79,817	23,601	2,285	70,390	461	88	4,777	68	18	4,650
					B/A 69.9	C/B 97.8	95.6	88.2	D/B 1.9	3.7	6.0	E/B 0.3	0.8	5.8

被保険者数

	4年度	3年度
4月	39,104	39,424
5月	39,983	40,359
6月	40,493	41,085
7月	40,790	41,421
8月	40,778	41,521
9月	40,773	41,577
10月	40,728	41,516
11月		41,333
12月		39,528
1月		38,465
2月		38,115
3月		37,973

前月末被保険者数	40,773
資格取得者数	461
資格喪失者数	531
転入者数	26
転出者数	1
今月末被保険者数	40,728

雇用動向(建設業における雇用保険の加入動向)10月末



建設資材の需給・価格動向調査 (4年11月)

	需給動向												価格動向												備 考
	青森			弘前			八戸			県平均			青森			弘前			八戸			県平均			
	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落	
セメント		○																							普通ポルトランド(バラ)でトン当たり15,400円と前月比変わらず。9月の青森県内の販売量は3万5千トン(協会調べ)で前年同月比27.8%減。メーカー各社は、10月からの3,000円以上の値上げを迅速に進めるべく需要家との交渉を本格化させたい意向。一方、1年に満たないなかでの大幅な値上げに対し、主な需要家の生コンメーカーは製造コスト増への危機感を強めている。メーカーは、強腰の販売姿勢を見せているものの、需要家は様子見姿勢を崩していない。先行き、横ばいの公算が大きい。
コンクリート製品		○																							道路工事向け、農業土木向けとも昨年度比で県内出荷はやや増加している。10月からのセメントの追加値上げ表明を受け、製造コスト増による採算悪化に危機感を募らせているメーカー各社は、値上げの上積み求め交渉を継続している。需要家は製造コストが増加している状況に理解を示しつつも、さらなる値上げの受け入れには慎重な構え。先行き、横ばいの公算大。
生コンクリート		○																							県内の10月の出荷量は6万m3(生コン工組調べ)で前年同月比7.3%の増。県内全体の生コンの商況は盛り上がり欠いている。セメントや骨材などの追加値上げ要請があるなか、一部メーカーは、原材料および輸送コスト増加による採算悪化回避のため、今年度2度目の値上げを表明している。メーカーのこうした動きに、需要家は理解を示しつつも慎重な姿勢を崩していない。先行き、横ばいの公算が大きい。
砕 石		○																							生コン用、道路用とも出荷は低調に推移している。八戸地区のメーカー各社は、度重なる製造・輸送コストの増加を受け、10月から本年度2回目の値上げを表明。採算悪化に危機感を募らせたメーカー各社は強腰で価格交渉を実施。安定調達を優先した需要家は値上げの一部を受け入れた。一部メーカーは値上げの積み残し分の交渉を継続していくものの、需要家はさらなる値上げに対して慎重な姿勢を崩していない。先行き、横ばいの公算大。
小 棒		○																							SD295・D16でトン当たり115,000円と前月比変わらず。原油やガスのエネルギー価格高騰による電力料金の上昇を背景に、メーカー各社は値上げを表明。これを受け、需要家が材料手配を急ぐ動きを見せたため、市場は活性化。夏ごろから、下落傾向が続いていた製品市況の先安観は解消した。需要家は急激な値上げに難色を示しているが、メーカー、流通筋とも採算確保のため、強い販売姿勢で交渉を進める構え。今後もエネルギー価格は上昇するとの方が見方が大勢であり、目先、強含みの公算大。
アスファルト		○																							10月の県内出荷量は7万7千トン(合材協会調べ)で前年同期比3.2%の減。メーカー各社は、製造・輸送コストの増加分を販売価格に転嫁するため、値上げの上積み求め交渉を継続している。需要家は製造コストが増加している状況に理解を示しつつも、さらなる値上げの受け入れには慎重な構え。交渉は平行線をたどっており、進展する気配は見られない。目先、横ばいの公算大。
木 材		○																							管柱 杉(KD)3.0m×10.5×10.5cmでm3当たり105,000円と前月比5,000円の下落。4カ月続落となった。9月の県内新設住宅着工戸数は441戸で前年同月比12.5%の減少(国土交通省調べ)。ウエイトの高い持家が前年同月比26.4%の減少、それに次ぐ貸家が同11.3%の増加などとなっている。建設資材高騰や住設機器の納期遅延などを背景に建築着工が低調。輸入材、国産材とも需給が緩和しており、軟調に推移している。先行き、弱基調の見通し。
油 類		○																							軽油はミニローリー渡りでリットル当たり121円、重油はローリー渡りでリットル当たり82円とともに前月比変わらず。原油相場は主要産油国の減産決定により一時上昇するも、欧米の金融引き締めが景気を冷やすとの見方が根強く不安定な状況が続いた。一方、国内は燃料油価格激変緩和対策により販売価格の変動は抑えられている。今後も原油相場は先の読めない展開だが、来年1月以降も緩和措置が継続される見込みで国内市況は安定するものとみられる。目先、横ばいの見通し。
型枠合板		○																							12×900×1,800mm輸入品で枚当たり2,250円と前月比変わらず。需要が盛り上がり欠くなか、流通筋は仕入れ量を減らしているが、引き合いが低調で逼迫感はない。現地価格の高止まりに加え、円安による輸入コスト高から流通筋は値上げの機会をうかがっているものの、模様眺めの様子。現地の雨季入りにより、さらに入荷量が低下することが予想されるが、需給緩和の状況に変化の兆しは見られない。先行き、横ばい推移の見込み。
形 鋼		○																							200×100でトン当たり129,000円と前月比変わらず。市中荷動きに直結する中小建築需要が低迷し、さえない商況が続いている。流通各社は、採算確保に向けて販売価格を引き上げたい意向。しかし、数量確保を目的とした価格競争が散見され、現状価格の維持が精いっぱい状況。流通各社は、売り腰を引き締め、再度の値上げ表明を検討しているが、需要家の値上げに対する抵抗が予測される。目先、横ばいの公算が大きい。

(価格動向欄の上昇・下落は、3%以上の変動とする。)

建設資材の需給・価格動向調査 (4年11月)

区 分	品 名・規 格	単 位	青 森		弘 前		八 戸		県 平 均		備 考
			価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	
セメント	バラセメント(普通ポルトランド)	t	15,400	0.0	15,400	0.0	15,400	0.0	15,400	0.0	
セメント	袋物セメント(普通ポルトランド)25kg入	袋	560	0.0	560	0.0	560	0.0	560	0.0	22,400円/t
コンクリート製品	U形側溝300B L=1m	本	3,060	0.0	3,060	0.0	3,060	0.0	3,060	0.0	
コンクリート製品	ベンチフリューム400型 L=2m	本	6,160	0.0	6,160	0.0	6,160	0.0	6,160	0.0	
コンクリート製品	ヒューム管B型 φ600 2.43m	本	40,600	0.0	40,600	0.0	40,600	0.0	40,600	0.0	外圧管1種
生コンクリート	18-8-40	m3	13,000	0.0	13,600	0.0	16,000	0.0	14,200	0.0	
砕石等	洗砂	m3	3,300	0.0	3,200	0.0	4,500	0.0	3,667	0.0	
砕石等	コンクリート用砕石 25~5mm	m3	4,000	0.0	3,900	0.0	4,700	0.0	4,200	0.0	
砕石等	切込砕石 40~0mm	m3	3,100	0.0	3,000	0.0	3,500	6.1	3,200	2.1	
小形棒鋼	普通丸鋼SR235 φ13mm	t	151,000	0.0	151,000	0.0	151,000	0.0	151,000	0.0	
小形棒鋼	異形棒鋼SD295A D16~25mm	t	115,000	0.0	115,000	0.0	115,000	0.0	115,000	0.0	
アスファルト	ストレートアスファルト 針入度60~100	t	125,000	0.0	125,000	0.0	125,000	0.0	125,000	0.0	60~80
アスファルト	アスファルト混合物 密粒度13	t	15,100	0.0	15,400	0.0	14,300	0.0	14,933	0.0	149,330円/10t
木 材	管柱 杉(KD) 長3m×厚10.5cm×幅10.5cm	m3	105,000	-4.5	105,000	-4.5	105,000	-4.5	105,000	-4.5	
油 類	軽油(ミニローリー渡し)	L	121.0	0.0	121.0	0.0	121.0	0.0	121.0	0.0	121,000円/kl
油 類	重油(ローリー渡し)	L	82.0	0.0	82.0	0.0	82.0	0.0	82.0	0.0	82,000円/kl
型枠合板	12×900×1800mm	枚	2,250	0.0	2,250	0.0	2,250	0.0	2,250	0.0	
H形鋼	SS400 200×100×5.5×8mm	t	129,000	0.0	129,000	0.0	129,000	0.0	129,000	0.0	

建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

表-1 [小型棒鋼・H形鋼]

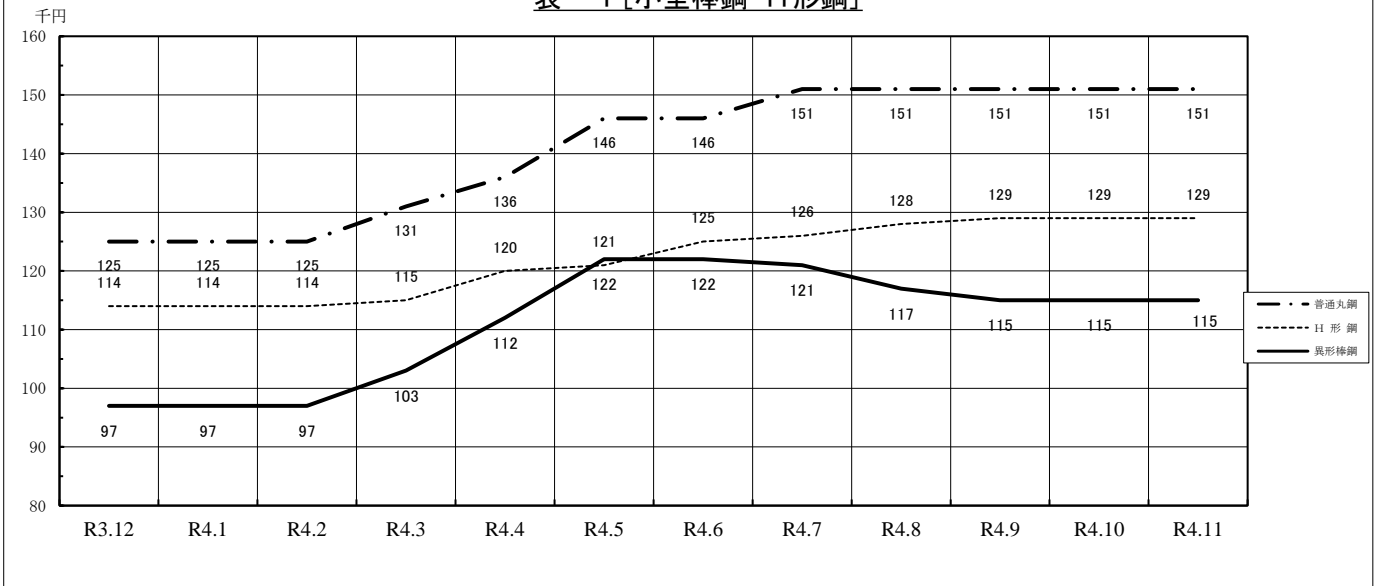


表-2 [セメント・生コン]

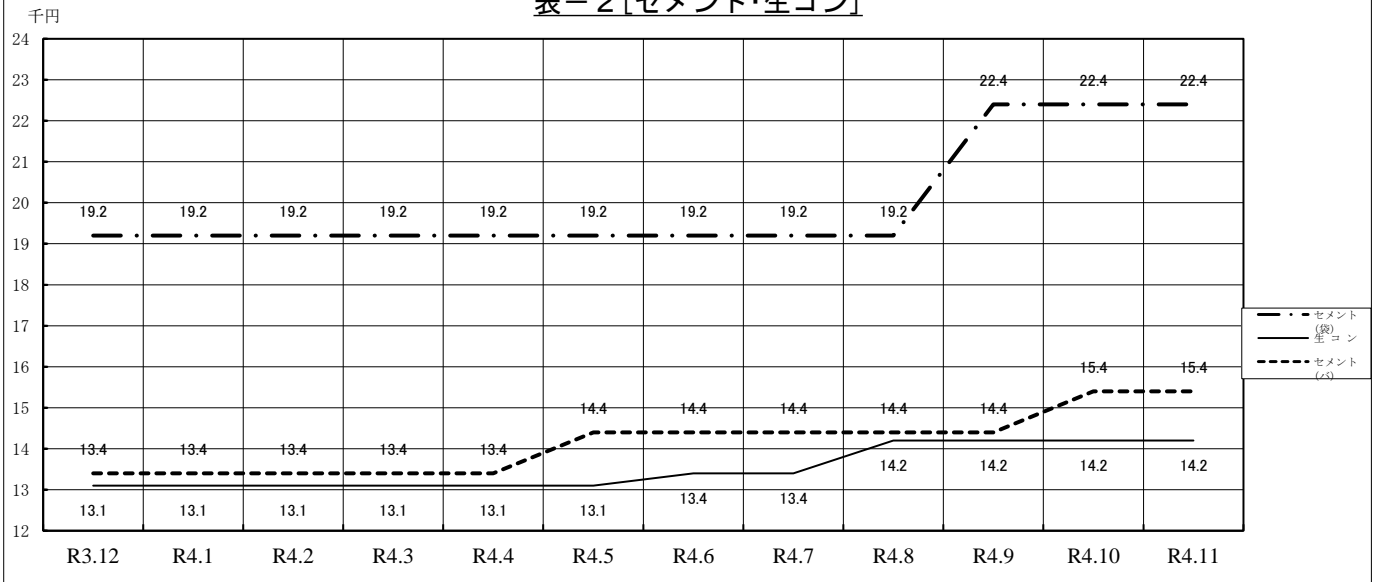
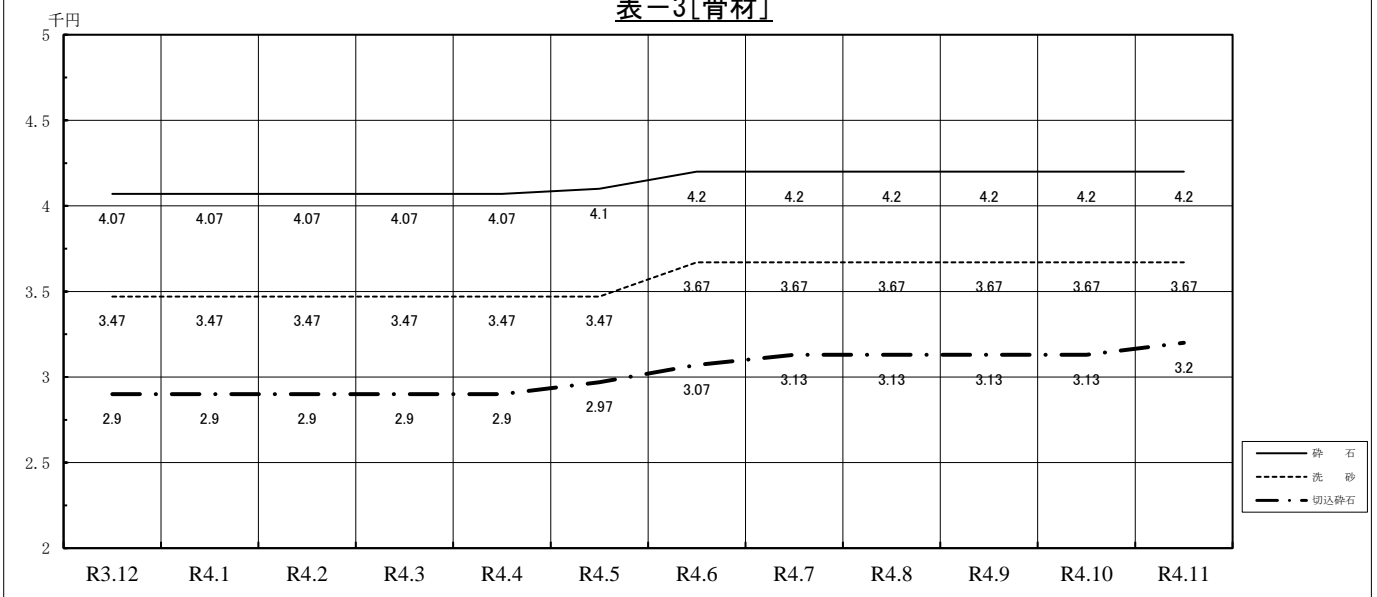


表-3 [骨材]



建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

